



feature interview

DJ HAZIME

土曜日NO DOUBTのレギュラーDJであり、6/25にはNEW EVENT「CRUNK」でロングタイム・ブレイを敢行。DJとして長年の経験から培われたその豊富な知識と鋭い感性には定評のあるDJ HAZIME。またHARLEM ver.2.0ではfeat. SPHERE of INFLUENCE, L-VOKALで楽曲を提供、その他DABO、NITROをはじめ数多くのアーティストへのトラック提供など制作面においても精力的な活動を続けるDJ HAZIMEの巻頭インタビュー。

■HARLEMも4月末に6周年を迎え7年目に突入した訳ですが、この6年間で何か変わったと感じる事はありますか？

HIP HOP, R&Bと言われるものを聴く人が単純に増えたのと、クラブのお客さんとライブを見に来るお客さんがちょっと分かれてきているかなってというのが最近感じる所ですね。例えば、HARLEMでエミネムとかをかけると凄く盛り上がるんだけど、この前エミネムのライブに行ったら、クラブに来ているようなお客さんが凄く少なくて。格好でしか判断出来ないし、ライブのお客さんとクラブのお客さんっていう言い方も変だけど、なんとなくそういうものが分かれて来ているかなって思った。

■先日行われた「HARLEM ver.2.0」のリリースパーティーでもフロアに居ながら踊らない人の姿もありましたからね。

それがお客さんの変化だよ。その人達はライブを観に来ているお客さんで、場所はHARLEMじゃなくても良かったんだと思う。クラブの遊び方をまだ知らない人達が、ライブからだったら入りやすいっていうのは凄く解る。DJは同じ所にずっと立ってただけだから、ラッパーの動きだったりとか、確かに目に見るライブの方が取っ掛かり易いのかなって。前はクラブでライブがあってもあんまり変わらないというか、ライブも観るし、フロアでも踊れるっていう人が結構居た気がするかな。HARLEMに関して言えば、オープン当初から来ていたお客さんが来なくなったり、お客さんが入れ替わるというのは毎年ある事だし、それはほぼ2年周期くらいで繰り返されているんだけど、今年は丁度その時期で、この時期は特に常連だった人達もちょっとお休みして、新しい人達が一気に来ているのは確かだよ。

■HARLEM ver.2.0に提供している楽曲「OFF DA RADAR (feat. SPHERE of INFLUENCE, L-VOKAL)」について。

スフィア(SPHERE of INFLUENCE)とは去年彼のアルバムで一曲やって、結構面白かったからVer.2.0の話が来た時に声を掛けたらOKしてくれて。で、スフィアがL-VOKALも一緒にやりたいと。最近は身内以外からもトラックの依頼が来るようになったから、ちょっと新しい事もしてみたかったしね。

毎回新しいものを作っていて、それが自分で良いと思えばそれがその時点でオレのベストになるから、そういう意味では「OFF DA RADAR」はその時点でオレのベスト以上のものが出せたかな。MIXもポーカールも狙い通り以上。自分が予想していたより良い物が出来たかな。トラック作って出来上がった時もこの曲はカッコイイって思っていたし、ラップを乗せてスフィアとL-VOKALが全部パースを埋めてくれた時もそう思ったし、D.O.I君の所でMIXが終わった後も思ったし、HARLEMでかけても思ったから、バッチリかな。

■制作をするにあたり何かイメージした事はありますか？

今回の曲はver.1.0の「真夜中の王国」とはまた違うクラブの歌っていうと変だけど、そういうテーマにある程度沿っているものを作るっていうのはトラック渡す前からスフィアとも話して。こういう感じでやりたいからスフィアもこういう感じで考えておいてとだけ言っておいて。らしくない事をしたくなかったんだよね。やっぱりここでかけてなんぼって、それが大前提だったから。そういうイメージで作ったらあのトラックが出来た。

トラックは1曲しか渡してないんだよスフィアに。あれだけ作ってハイ、これをお願いしますって。

■ver.2.0に収録されている他の楽曲で気に入る曲はありましたか？

ラッパーではDALAH(笑)。でもD.O.I君(feat. DABO, PUSHIM)ののはやっぱり凄いな。やっぱり自分のと比べるじゃん、どうしても。聴き比べるとそれぞれのカラーは出ている訳で、これはオレのより凄いかオレのより凄くないとかじゃなくて、D.O.I君の曲に関しては、これはクラブでかけたら面白そうって素直に思ったね。たまたま何か違う曲のMIXをしている時にD.O.I君の家であの曲がまだ全然作り込んでいる途中のものを聴いてたから、なおさらなんだけど、ああこまで出来ちゃうんだ、凄いて。

■今後の制作予定は？

XBSとラップ我リヤ。それぞれアルバムで1曲ずつ。やりたい事はいっぱいあるし、自分名義のアルバムも考えてはいるけど、いつ頃になるかはまだ未定です。今はとにかくNITROのアルバムとか、DABOのアルバムの製作に力を入れたいですね。でも、俺はクラブのDJだから製作はバランス良くやろうと。あんまり追われないように。

■国内外を問わず、最近気になるプロデューサーはいますか？

結局セレクトがクラブのDJだから、そういう意味で、最近気になるというか、フロアでかけると凄いていうのはNEPTUNES、JUST BLAZE、TIMBALANDかな。プロデューサーとしてNEPTUNESだから買うっていう訳じゃなくて、NEPTUNESの曲はクラブで凄いいい音が出るからっていうのがまず先だから。その中で例えばクラブでかける時の為のマーキングとかしてて、インストまでドラダラ聴いちゃう時があって、インストまで聴いた時に、ああこの曲凄いなって思う事が多いのが、NEPTUNES、JUST BLAZE、TIMBALANDかな。PREMIEREも新しいGANGSTARRのアルバム聴いたら良かったし。まあ相変わらずだったけど(笑)。あと、プロデューサーとして凄いい好きだったのはPETE ROCKかな。気になるというよりも好きだったというかな。高校生の時に凄いい好きだった女の子が10年振りに会ったら変わっちゃってて、あのまま綺麗なままでいれば良かったのって(笑)。

■6/25にスタートするイベント「CRUNK」では一人でロングブレイを行うそうですが、過去にそういうロングブレイをされた事はありますか？

※6/17取材時のコメントを掲載。次回「CRUNK」は7/23と8/20に開催決定！

別の場所で何回かやった事はあるんだけど、ちゃんと大々的に宣伝してやるのは今回が初めてかな。オレが10年くらい前からずっとこういう所にいて、その当時からいる人達もみんな凄いい楽しんでくれてるしね。だから今まで聴いてきたものを全部一回吐き出してみたい。土曜日の良い時間だと昨日買ってきたばかりのプロモはかけられないけど、CRUNKだったらかけられるという事ではなくて、CRUNKだったらBLACK MOONとかかけてもいいんじゃないかなとか、COME CLEANかけてもいいかなとか。そういう楽しみな部分もあるし、そういう楽しみ方もして欲しい。

最近のHIP HOPをずっと聴いていた子達が、COME CLEANなんてクラブでかけたらフロア受けは皆無のような曲を、良いと思ってくれるかも



うかは、全部オレのかけ方次第なんだよね。でもそこで、なんだこれ？って思ってくればOKなんだよね。多分3時間半くらい回しても、ここっていうポイントは2カ所くらいしかないと思うし、それを逃したら多分ダメだろうね。ただの暗い曲になっちゃう。逃さないでグッとくるようにするのが楽しみだし、例えば本とか見ててこの子可愛くない？って聞いたら可愛いって言って欲しいじゃん(笑)。これはないでしょって言われたらちょっと傷ついちゃうじゃん。そういう感じ。これカッコイイよなって当時みんなが思っていた曲を今かけてみて、カッコイイじゃんって思ってくれ。お説教臭いじゃんなくて、良いものをかけたらコレいいよなっていう単純な事が基本にあればいいかな。CRUNKはいるんな物をかけて長い時間を作ってみたい。

■「CRUNK」は普段のNO DOUBTで聴けるDJ HAZIMEのプレイとは違う感じですか？

全く違う訳じゃないけど、普段のNO DOUBTをベースにもっと上げた感じかな。全く違うようになったらオレじゃなくても良くなっちゃうし、じゃあNO DOUBTは嘘だったのか、ホントにやりたかったのはこっちだったのかってなっちゃうじゃん。だからいつものNO DOUBTよりもちょっと上げた感じにしようかなと。楽しみですね、僕も。

■最近のNO DOUBTについて何か感じる事はありますか？

去年の暮れは凄いい感じだし、ブースを見て踊っている人なんて殆どいなかったのに、この時期またみんなブースを見ているからね。オレがクラブで好きな所って、みんな適当に遊んでるのが楽しいというか、NYのクラブで衝撃を受けて本場のクラブってこうなんだって思ったのが、誰もブースなんて見ないで適当に友達と話したり、ナンパしたりして、曲さえ良ければDJの事なんて気にしてないんだよね。これいいなって思って。オレが当時行ったのは20歳前だったと思うけど、その時日本のクラブはみんなブースを見ているの。丁度MURO君がDJをガンガンやり出した頃だし、KENSEI君もやってる時で、特にKENSEI君の日なんてブースの前で曲順をメモってる人がいたりして。そうするの分からはないけど、NYで一回良いと思えるものを見ちゃったから、何か嫌でさ。もちろん誰かDJだから遊びに来るっていうのはあるけど、そのDJが良いっていうのは、その人のプレイを聴いて良いって言うだけだから、そんな別に見なくても。もっと勝手に遊んで下さい、僕

たちはそれを演出するだけですからって思う。DJは縁の下を力持ちだから、縁の下を支えている所を見られてさ、辛いだけじゃん。だったら上で踊ったり、ナンパしたりしてくれて、その人達の方を見てくれた方が絵的には面白いと思うんだけど。でもそれはこっちが強制して、これはいいんだよ、これは悪いんだよって言うんじゃないで、言わなくてもやっていく事によって改善出来れば良いと思ってます。これはこうじゃないといけないとか、NYはこうだったっていうのは別に全然言うつもりもなくて、あくまでオレがただNYでそういうのを見て好きだから、それに近付きたいというだけ。オレが良いと思った空気をオレが作りたいたいだけだから、別にパンクみたいに騒ぐのも、それはその人の個人の楽しみ方だから、それがダメとかじゃなくて、オレはそれはあんまり好きじゃないってだけで。そういう人が居てもいいんだけどさ。

でも8月、9月までは毎年こういう感じだから、今はそうでも徐々にオレが良いと思う方向に持っていけたらいいなという、そんな感じかな。

もちろん盛り上がるのはいい事だし、元々そういうDJの仕方ばかりしてきたからさ。でもそればかりじゃなくて、というのが次なるNO DOUBTのテーマかな。毎週テーマはあるんだよね。TAIKI君が回してる時にフロアを見たりして、今日は男子だとか女子だとかで今日はどうしようかって決めていたり。意気込みだけはいつも120%くらい(笑)。

■読者に一言

土曜日に限らず、火曜日、金曜日ともそれぞれの色があるから、HARLEMで気になる日に来てみて、いるんな楽しみ方をしてくれれば良いと思う。その中でどの曜日が面白いとか、たまには金曜日、たまには火曜日に行ってみようとか、そうやっていろいろ行ってみると、土曜日じゃかからないような曲が火曜日や金曜日にかかったり、その逆ももちろんあるから、いろんな楽しみ方をして欲しいなと思います。今まで来ていた人はこれからも来て下さい。卒業はナシだよ。卒業って結構傷付くんだよ。DJ飽きられちゃったのになって。HARLEMもそうだけど、渋谷も結構変わったからそういう時期なのかな。でも、これからもこれまで以上に楽しい空気&現場を作っていくので、土曜の夜のHARLEMに遊びに来て下さい。あと、俺のやってるラジオを聴いてくれる地方の人達は夏休みには是非HARLEM & NO DOUBTに遊びに来て下さい(笑)。